

気をつけよう！感染症

令和6年4月17日発行
松本市保健所保健予防課

松本市内の感染症流行状況（2024年4月8日～4月14日）

学校でインフルエンザの集団発生が報告されています。春休み明け後も引き続き「換気」や「手洗い」等といった基本的な感染対策を心がけましょう。

マダニに注意！！

予防のポイント

- 肌の露出を少なくする
 - 長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する
 - 帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く
 - シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる
 - 足を完全に覆う靴を履く
- 明るい色の服を着る(マダニを目視で確認しやすい)
- 虫除け剤を使用する(医薬品の表示があるものがおすすめ)
 - * 上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう
 - * 屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認をしましょう



マダニに咬まれた時の対応

- マダニに咬まれると、肌についたままとることができません。無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。
- マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

春から秋にかけてマダニが活発化します。
山菜採り、農作業、登山、レジャーなどの活動をする場合は、マダニに咬まれないよう注意しましょう。

○ダニ媒介感染症

ウイルスや細菌などの病原体を保有するダニに咬まれた場合、ダニ媒介感染症を発症することがあります。

○主なダニ媒介感染症

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、
ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、ライム病、
つつが虫病など

ダニによる感染症の多くは、咬まれたあと、数日から数週間以内に発熱や頭痛、関節痛、リンパ節の腫れなどの症状が現れます。

ダニ媒介感染症
(松本市ホームページ)

